



2015年3月期(平成26年度)
第3四半期決算説明資料

2015年2月9日

ダイキン工業株式会社

- I. 第3四半期決算概要…………… P.3-4

- II. 部門別業績…………… P.5-14
 - ・部門別売上高/営業利益
 - ・地域別売上高の推移 — 空調事業、化学事業
 - ・部門別業績の概況

- III. 補足データ…………… P.15-16
 - ・設備投資、減価償却費、研究開発費

※14年度より会計方針を一部変更(売上高計上基準を出荷基準から納品基準へと変更)したことに伴い、13年度実績については、各財務数値の遡及修正を行っております。

I . 第3四半期決算概要

■ 第3四半期全社業績



中国・米国・アジアを中心に海外空調事業が好調に推移。トータルコストダウン、売価政策に加え、円安による為替換算効果も取り込み、大幅増益。足元の事業環境は厳しさを増すが、引き続き販売力強化を推進し、通期計画の達成をめざす。

(単位: 億円)	3Q(10-12月)			3Q累計(4-12月)			14年度年間計画	
	13年度	14年度	前年比	13年度	14年度	前年比	11月公表	前年比
売上高	4,140	4,585	111%	13,390	14,327	107%	19,500	109%
営業利益 (利益率)	295 (7.1%)	359 (7.8%)	121%	1,215 (9.1%)	1,492 (10.4%)	123%	1,900 (9.7%)	121%
経常利益 (利益率)	313 (7.6%)	401 (8.7%)	128%	1,221 (9.1%)	1,549 (10.8%)	127%	1,890 (9.7%)	121%
四半期純利益 (利益率)	161 (3.9%)	183 (4.0%)	113%	753 (5.6%)	939 (6.6%)	125%	1,130 (5.8%)	122%

為替レート

1USD	¥100	¥115	¥99	¥107	¥106
1EUR	¥137	¥143	¥132	¥140	¥137

○為替影響

3Q累計(4-12月) 売上高: +530億円(うち3Q: +290億円)
営業利益: +70億円(うち3Q: +40億円)

○営業利益増減分析(3Q累計 対前年)

【内訳】 為替影響 +277億円
 拡販・売価 +70億円
 コストダウン・固定費ほか +160億円
 +47億円

II. 部門別業績

■部門別売上高/営業利益



(単位: 億円)		3Q(10-12月)実績			3Q累計(4-12月)実績			14年度年間計画	
		13年度	14年度	前年比	13年度	14年度	前年比	11月公表	前年比
全社	売上高	4,140	4,585	111%	13,390	14,327	107%	19,500	109%
	営業利益 (利益率)	295 (7.1%)	359 (7.8%)	121%	1,215 (9.1%)	1,492 (10.4%)	123%	1,900 (9.7%)	121%
空調	売上高	3,708	4,111	111%	12,092	12,955	107%	17,450	109%
	営業利益 (利益率)	271 (7.3%)	323 (7.9%)	119%	1136 (9.4%)	1374 (10.6%)	121%	1,690 (9.7%)	121%
化学	売上高	346	353	102%	982	1,019	104%	1,500	107%
	営業利益 (利益率)	24 (6.9%)	30 (8.6%)	126%	73 (7.4%)	102 (10.0%)	140%	180 (12.0%)	126%
その他	売上高	86	121	141%	316	353	112%	550	110%
	営業利益 (利益率)	1 (0.9%)	6 (4.7%)	—	7 (2.1%)	16 (4.5%)	242%	30 (5.5%)	126%

■地域別売上高の推移-空調事業



(単位:億円) ※左肩の数字は前年比	10年度1-3Q		11年度1-3Q		12年度1-3Q		13年度1-3Q		14年度1-3Q		14年度 3Q(10-12月)		14年度計画 (11月公表)	
	日本	109%	2,658	107%	2,838	108%	3,055	105%	3,201	97%	3,098	93%	950	99%
ヨーロッパ	94%	1,572	94%	1,483	88%	1,302	130%	1,692	101%	1,705	101%	536	106%	2,450
中国	126%	1,228	120%	1,475	109%	1,610	148%	2,382	110%	2,632	110%	842	113%	3,260
アメリカ	104%	674	105%	709	107%	762	365%	2,782	118%	3,281	137%	1,025	117%	4,250
アジア	134%	816	104%	847	113%	956	140%	1,339	115%	1,537	117%	490	120%	2,150
オセアニア	103%	300	83%	250	100%	250	122%	305	106%	324	113%	126	105%	440
中近東	106%	130	130%	169	141%	238	135%	322	95%	305	130%	114	99%	450
アフリカ	91%	52	92%	47	98%	46	150%	69	107%	74	132%	28	100%	100
計	109%	7,429	105%	7,818	105%	8,219	147%	12,092	107%	12,955	111%	4,111	109%	17,450
海外売上高比	64%		64%		63%		74%		76%		77%		75%	
為替レート 1USD	¥87		¥79		¥80		¥99		¥107		¥115		¥106	
1EUR	¥113		¥111		¥102		¥132		¥140		¥143		¥137	

※為替影響を除く実質前年比

	3Q累計	3Q期間	年間計画 (11月公表)
ヨーロッパ	95%	97%	103%
中国	103%	98%	109%
アメリカ	109%	119%	110%

■地域別売上高の推移-化学事業



(単位:億円) ※左肩の数字は前年比	10年度1-3Q		11年度1-3Q		12年度1-3Q		13年度1-3Q		14年度1-3Q		14年度 3Q(10-12月)		14年度計画 (11月公表)	
	日本	145%	340	102%	348	89%	309	88%	272	97%	263	94%	90	105%
アメリカ	127%	189	108%	205	102%	210	121%	255	107%	272	119%	95	109%	415
中国	147%	133	152%	201	84%	170	141%	239	109%	260	103%	94	105%	350
アジア	166%	77	148%	113	67%	76	130%	99	110%	109	112%	39	119%	180
ヨーロッパ	130%	70	110%	77	96%	74	130%	97	111%	107	95%	32	113%	160
その他	82%	7	120%	9	122%	11	199%	21	36%	8	27%	3	—	—
計	140%	816	117%	953	89%	851	115%	982	104%	1,019	102%	353	107%	1,500
海外売上高比	58%		64%		64%		72%		74%		75%		74%	
為替レート 1USD	¥87		¥79		¥80		¥99		¥107		¥115		¥106	
1EUR	¥113		¥111		¥102		¥132		¥140		¥143		¥137	

※為替影響を除く実質前年比

	3Q累計	3Q期間	年間計画 (11月公表)
アメリカ	99%	103%	103%
中国	102%	91%	101%
ヨーロッパ	104%	93%	111%

■ 部門別業績の概況-空調事業



国内

- ・住宅用の業界需要は、夏場の天候不順と消費税増税後の需要回復遅れにより前年割れ。
- ・業務用の業界需要は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動はあったが、設備投資の増加や政府の省エネ投資支援策に支えられ、前年並み。
- ・当社は、高い省エネ性を誇る『うるさら7』や『FIVE STAR ZEAS』など、住宅用・業務用ともに高付加価値商品の販売拡大に注力したことに加え、売価維持政策の徹底、トータルコストダウンの推進により利益拡大に努めた。

＜国内空調業界・当社出荷台数＞

(千台)		14年度					
		上期実績	前年比	1-3Q実績	前年比	年間計画(11月公表)	前年比
住宅用	業界	5,248	91%	6,449	87%	7,700	82%
	当社	—	85%	—	82%	—	83%
業務用	業界	441	101%	626	101%	810	97%
	当社	—	92%	—	93%	—	93%
エコキュート	業界	203	95%	305	93%	420	91%
	当社	—	95%	—	93%	—	83%

■部門別業績の概況-空調事業



北米

- ・ダクトレスは、グッドマンの販売網の活用、人材の教育など販売力の強化を進め、住宅用・業務用ともに拡販。
- ・住宅用ユニタリーは、アメリカ北東部を中心とした夏場の天候不順の影響を受けたが、きめ細かい販売施策の展開、省エネ規制値の引き上げ(SEER13→SEER14)に伴う駆け込み需要の獲得や商品ラインアップ拡充により、前年を上回った。
- ・アプライドは、前年並の需要の中、エアハンドリングユニットを中心とした高付加価値商品を拡販。

＜北米製品別販売状況(台数ベース)＞

(前年比)		14年度				
		上期実績	1-3Q実績	年間計画(11月公表)		
				需要	当社計画	
ダクトレス	住宅用(RA)	132%	133%	120%	121%	
	業務用	SKY	138%	138%	120%	148%
		VRV	143%	129%	128%	140%
住宅用ユニタリー		114%	122%	108%	115%	
アプライド		101%	101%	102%	111%	

※SKY・・・中小型パッケージエアコン

※VRV・・・ビル用マルチエアコン

※アプライド、住宅用ユニタリーは売上高(現地通貨)ベース

■部門別業績の概況-空調事業



中国

景気の減速により政府系や大型不動産物件が低調に推移。
第3四半期以降、事業環境が一層厳しさを増す中、一般住宅市場、業務用街売市場での販売に注力し、全体の売上は前年を上回った。

- ・小売・街売向け専売店である「プロショップ」を軸に住宅用マルチエアコンを拡販。
- ・アプライドは、景気減速に伴う設備投資の抑制により需要の伸びが鈍化する中、ターボ冷凍機・エアハンドリングユニット等の機器販売を拡大。
- ・現地部材の採用拡大、内作化率向上など、コストダウンの取組みを加速させ、高収益を維持。

＜中国製品別販売状況(台数ベース)＞

		14年度			
		上期実績	1-3Q実績	年間計画(11月公表)	
(前年比)				需要	当社計画
住宅用		113%	107%	94%	125%
業務用	SKY	128%	120%	95%	118%
	VRV	115%	112%	108%	106%
アプライド		107%	104%	104%	111%

※SKY・・・中小型パッケージエアコン

※VRV・・・ビル用マルチエアコン(住宅用マルチエアコン含む)

※アプライドは売上高(現地通貨)ベース

■ 部門別業績の概況-空調事業



欧州 (トルコ、中近東、アフリカを含む)

EU経済の回復遅れ、最需要期での南欧の天候不順、トルコ・ロシアなど新興地域での地政学的リスクの影響を大きく受け、地域全体の売上高は前年を下回った。

- ・住宅用は、現地開発のデザイン性に優れた高付加価値商品とボリュームゾーン商品の拡販に努めたが、トルコでの流通在庫の影響や主力市場である南欧での冷夏影響が大きく、前年割れ。
- ・業務用は、建築需要が回復基調にあるイギリス、ドイツでの拡販に加え、きめ細かな販売店フォロー・受注活動により前年を上回った。
- ・暖房事業は、ヒートポンプ式住宅温水暖房機で、環境規制強化による需要拡大を捉え、フランスを中心に大きく販売を伸ばし、前年を上回った。

< 欧州製品別販売状況(台数ベース) >

(前年比)		14年度			
		上期実績	1-3Q実績	年間計画(11月公表)	
				需要	当社計画
住宅用		77%	82%	87%	93%
業務用	SKY	99%	98%	94%	92%
	VRV	100%	104%	96%	106%
暖房		113%	109%	112%	119%
アプライド		105%	107%	101%	111%

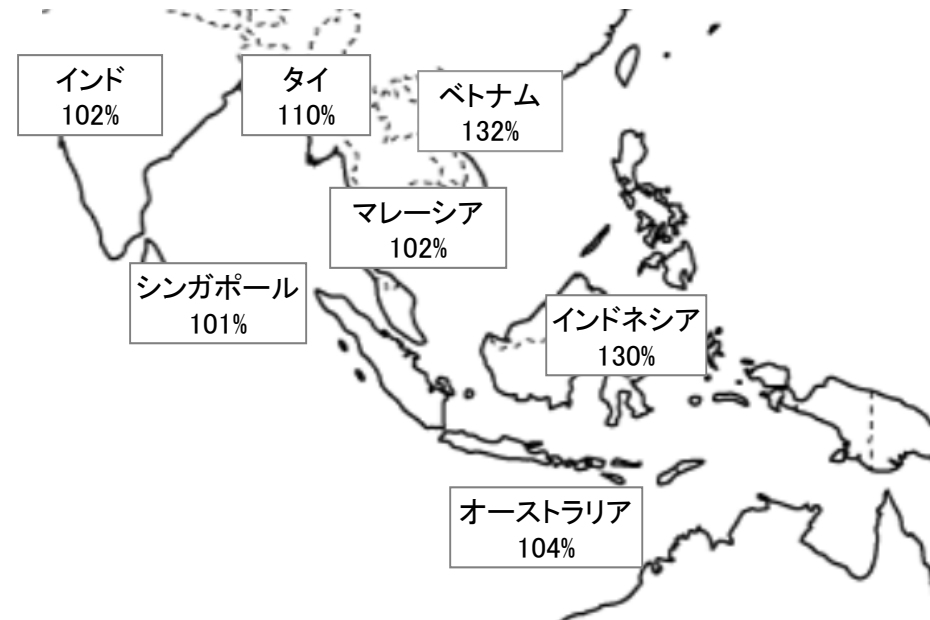
※SKY・・・中小型パッケージエアコン
 ※VRV・・・ビル用マルチエアコン
 ※アプライドは売上高(現地通貨)ベース

アジア・オセアニア

環境に優しい新冷媒R32を採用した新商品投入や販売網拡充により販売を伸ばし、地域全体の売上高は前年を大きく上回った。

- ・オーストラリア・タイでの販売が堅調に推移。特にタイは、政情に落ち着きが出始める中、きめ細かな提案営業活動を推進し、前年を上回った。
- ・ベトナム・インドネシアを中心とした新興地域では、構築した販売網を活用した家庭用の拡販に加え、業務用、特にVRVの販売強化を推進し、順調に拡大。

<主な国の1-3Q売上高前年比(現地通貨ベース)>



■ 部門別業績の概況-化学事業



- ・ガスは、国内・中国・アジアでの需要低迷が続き、売価ダウンに伴う販売抑制もあり前年割れ。
- ・樹脂・ゴム
 - ーフッ素樹脂は、国内・アジアの需要が堅調に推移したが、米国でのLAN電線・半導体用途向け、中国でのインフラ投資の需要が伸び悩み、前年並み。
 - ーフッ素ゴムは、欧州・米国・アジアなど自動車向けに販売を伸ばした。
- ・化成品は、撥水撥油剤がアジア・欧州での衣料用途向けで販売が伸長。スマートフォン向け表面防汚剤(オプツール)は順調に拡大。
- ・売価ダウンや需要の減少など事業環境は厳しく、引き続き固定費削減や製造コストダウンに努める。

＜フッ素化学製品の販売状況(売上高ベース)＞

(前年比)	14年度			
	上期実績	1-3Q実績	年間計画(11月公表)	
			需要	当社計画
全フッ素化学品	106%	106%	103%	107%
ガス	80%	71%	102%	75%
樹脂ゴム	101%	103%	103%	107%
化成品ほか	121%	120%	104%	115%

Ⅲ.補足データ

■ 設備投資、減価償却費、研究開発費



(億円)	2013年度実績		2014年度	
	1-3Q	年間	1-3Q	年間計画
設備投資	433	650	577	680
減価償却費	400	430	383	540
研究開発費	295	350	318	430



ダイキン工業株式会社

予測に関する注意事項

本資料は情報提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料(業績計画を含む)は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその確実性・完全性に関する責任を負いません。ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願い致します。本資料の見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断により生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。